

平成27年度事業報告書  
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

一般財団法人日本冷媒・環境保全機構  
JRECO 情報処理センター

当機構は、平成27年1月30日にフロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（平成13年法律第64号。以下「法」という。）第79条第1項の規定により平成27年度の情報処理センターの事業計画及び収支予算書について認可を受け、法第77条に規定する業務を行った。

法第79条第2項により、平成27年度のJRECO 情報処理センターの事業報告をします。

(1) 情報処理業務の実施に関する事項

①情報処理業務の内容

JRECO 情報処理センターは、法第77条に掲げる以下の情報処理業務を平成27年度において適切かつ確実に実施した。

- ・ 法第38条第1項及び法第40条第1項の規定による登録にかかる事務を電子情報処理組織により処理する。
- ・ 上記登録事務を電子情報処理組織により処理するために必要な電子計算機その他の機器を使用し、及び管理し、並びにプログラム、データ、ファイル等を作成し、及び保管する。
- ・ 法第38条第2項（法第40条第2項において準用する場合を含む。）の規定による通知並びに法第38条第3項（法第40条第2項において準用する場合を含む。）の規定による記録及び保存を行う。

平成27年度の年間登録件数と平成28年3月31日現在の情報処理センターへの管理者・廃棄者、充填回収業者の登録事業所数は下記の通りである。

- ・ 登録件数（処理件数） 1,203件  
初年度で、認知度も低く、また普及のための広報活動も十分ではなかったこともあり計画数値とは大きな乖離が生じる結果となった。一方で、時期を経るにしたがい情報処理センターの認知が進んだことや、年度末に集中しがちな定期点検実施時期等の関係によると思われるが、平成27年度は第1四半期から第4四半期にかけて登録件数の伸び率は結果的に8倍となった。（添付資料A）
- ・ 登録事業所数  
管理者・廃棄者 4,918  
充填回収業者 1,354  
（なお、充填回収業者の場合、1事業所で複数の都道府県を登録している都道府県をそれぞれ個別に累計した場合は3,460）

②情報処理業務に関連する問い合わせ対応や事務処理について、適正に処理できる体制の構築と、効率的な実施

人員体制は、平成27年度事業計画の業務を遂行するために情報システム部4名体制としてシステムの適正な運用に当たり適切に対応した。初年度であり電話やメールでの問い合わせが平均して一日あたり数件あったが、多くの問い合わせは当日中もしくは翌日には回答完了した。こうした対応を通してノウハウの蓄積等を行い「よくある問い合わせ（FAQ）集」やマニュアルや利用ガイド類の作成、見直しを適宜行い利用者の便を図ってきた。（添付資料B）

経理に関しては、情報処理センター利用のために預託された預かり金と、情報処理センターの利用時に利用料金として当機構が収受した金銭を、収支計画書に基づき適切に管理した。なお、情報処理センター単体での収支実績は若干の赤字となっているが、当機構全体の収支の中において十分に吸収可能なレベルであった。

## （2）情報処理業務に用いる設備の維持及び更新の見通し

### ①機器更新や拡充等各種の機能改善の適切な実施

情報処理業務を実施するために必要な電子計算機その他の機器については、情報処理業務が事業計画内で推移したので、データ処理及びデータ容量に関しては十分に余裕があり、機器の更新や拡充は行わなかった。現在のデータ容量の使用領域は26GB（OSを含む全使用容量）で使用可能領域312GBの8.3%である。

また、各種の機能改善については情報処理センターの利用者の利便性の向上や効率性を高めるため、システム仕様の変更や追加を随時行い、継続的に改善を図り適切に実施した。

#### 1）平成27年度実績

- ・ 算定漏えい量出力方式（現 CSV 出力）に国への報告書にそのまま添付可能な PDF 出力（様式第1第1表）（添付資料C）と国の算定漏えい量報告書支援ツールに合わせた CSV 出力を追加した。
- ・ 充填回収業者の都道府県報告を法改正に対応した新形式に改訂し、法改正に対応した都道府県報告の作成を可能とした。
- ・ 充填回収業者の会社情報公開について、事業者登録時にチェックボックスで公開の有無を選択することにより、連動して業者一覧として公開・検索できるようにした。

### ②システムの安定運用のための保守管理の実施

情報処理業務を実施するシステムは、安定な運用を図るために高いセキュリティで保護されたデータセンター内に構築し、外部からのアクセスは暗号化された通信手段やファイアーウォールによる接続制限を設けてある。システムの開発、変更、維持に関する運用管理の実務は外部委託による専門業者に一任し、JRECO からのサーバーへの直接のアクセスも行えない仕組み（アクセスは Web 経由のみ）としたことで、万一 JRECO 内の情報機器に不正アクセスやウィルス感染が発生した場合でも、情報処理センターのシステムは隔離された環境としており問題なく運用した。

委託先の運用管理者（専門業者）は、JRECO よりの要求に応じてシステムの開発や変更を行うと共に、不具合発生時の対応やサーバーの CPU 使用率によりシステム運用状況の監視を行った。同運用管理者と JRECO とは、不定期ではあるが開発や仕様変更に関して 2～3 週に 1 度程度の情報交換を行った。今後とも密な情報交換の維持を図っていく。

なお、安定な運用については 27 年度中では問題なく維持されており、設備能力も前述の通り当面は拡充や能力向上を図る必要はないと考えられるので、特段の事情の変化がない限り、28 年度も同様のシステムを維持することで対応が可能と判断できる。

### (3) その他必要な事項に関する事項

27 年度は情報処理センターの認知度を上げ、利用の普及・促進を図るため下記の活動を行った。

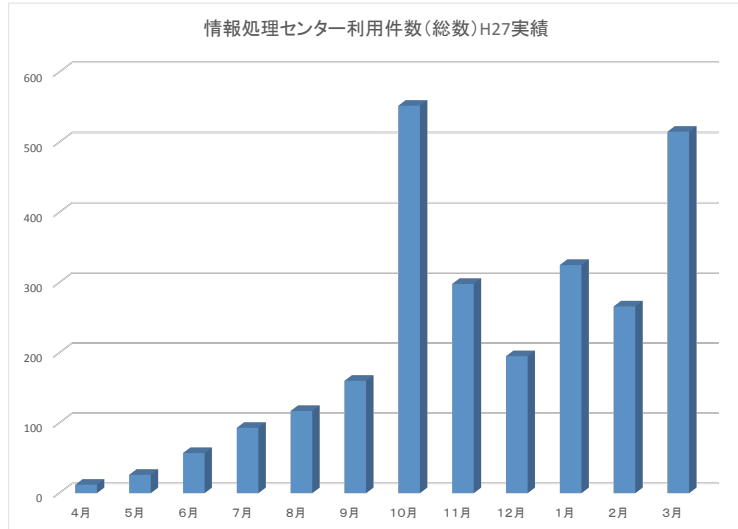
- ・ 経済産業省からの受託した「平成 27 年度冷媒管理技術向上支援事業（フロン排出抑制法に関する普及啓発事業）」での説明会が充填回収業者向けに 30 回、冷凍空調機器を使用する事業者（管理者）向け 30 回、業種・地域別説明会 29 回が開催されたが、合計 89 回の説明会において「電子的な情報管理について」として情報処理センターの紹介をした。（添付資料 E）
- ・ 環境省・経済産業省による「平成 27 年度フロン類算定漏えい量報告・公表制度説明会」（全 10 回）において情報処理センターの利用に関する説明をした。（添付資料 F）
- ・ 潜在利用者の要請に対しては個別に説明会を開催し対応した。
- ・ 雑誌への広告掲載を継続的に行い情報処理センターの周知を図った。（添付資料 G、H）
- ・ 新聞広告を出稿した。（添付資料 I）
- ・ HVAC&R JAPAN 2016 展示会に出展し実演及び説明をした。（添付資料 J）

#### [添付資料]

- A. 情報処理センター利用実績
- B. FAQ 集（抜粋）
- C. 算定漏えい量 PDF 出力サンプル
- D.
- E. 平成 27 年度フロン排出抑制法に関する普及啓発事業説明会開催結果
- F. 平成 27 年度フロン類算定漏えい量報告・公表制度説明会開催日程
- G. 雑誌広告（東冷協だより）
- H. 雑誌広告（冷凍空調設備）
- I. 新聞広告
- J. HVAC&R JAPAN 2016 展示会

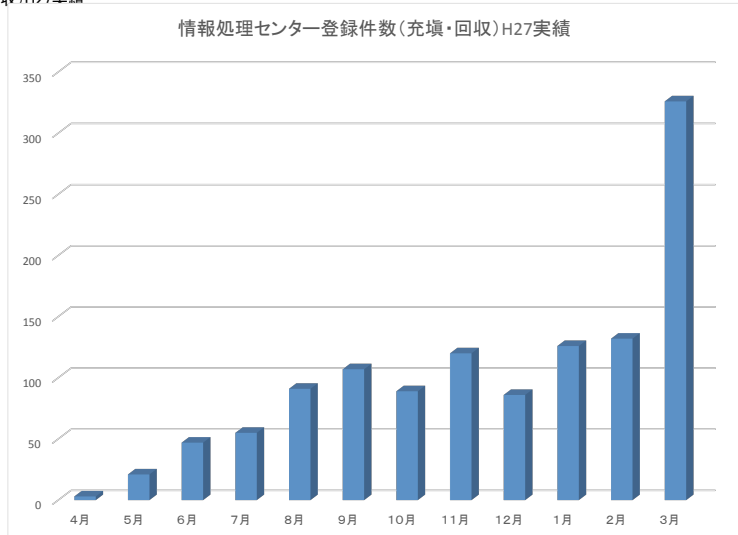
平成27年度 情報処理センター利用件数(総数)H27実績

4月	12
5月	26
6月	57
7月	93
8月	117
9月	160
10月	552
11月	298
12月	195
1月	325
2月	266
3月	515
計	2,616



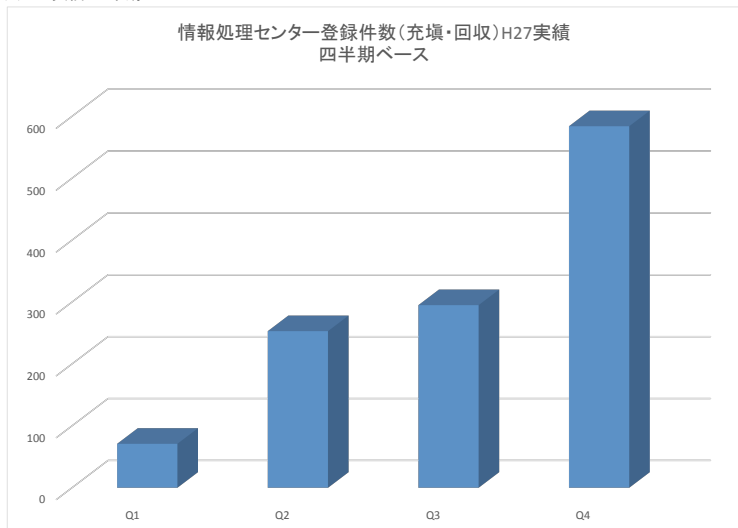
平成27年度 情報処理センター登録件数(充填・回収)H27実績

4月	3
5月	21
6月	47
7月	55
8月	91
9月	107
10月	89
11月	120
12月	86
1月	126
2月	132
3月	326
計	1,203



平成27年度 情報処理センター登録件数(充填・回収)H27実績 四半期ベース

Q1	71
Q2	253
Q3	295
Q4	584
計	1,203



## FAQ(よくあるご質問)

### 《システム全般について(概要)》

該当する質問項目をクリックするとその項目の回答を見ることが出来ます。

- Q1 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構の情報処理センター及び冷媒管理システムとは、何ですか。
- Q2 情報処理センター及び冷媒管理システムを利用するメリットは？
- Q3 利用方法は？
- Q4 利用の条件は？

### 《システムのご利用について(概要)》

該当する質問項目をクリックするとその項目の回答を見ることが出来ます。

- Q5 システムを利用したいのですが、まずはじめに何をしたらよいですか。
- Q6 システムで使用している「事業所登録」に関する用語の解説をしてほしい。
- Q7 システムの利用料金は、どれくらいかかるのですか。また、どのような支払方法になりますか。

### 《システムの事業所登録について》

該当する質問項目をクリックするとその項目の回答を見ることが出来ます。

- Q8 ログインパスワードはどうしたら手に入るのでしょうか。  
(管理者、取次者、充填回収業者、点検技術業者の場合)
- Q9 事業所登録、統括部署登録、破壊・再生業者登録、省令第 49 条業者登録は、有料ですか。
- Q10 客先である管理者がシステムを利用するか今のところ不明ですが、とりあえず充填回収業者登録をしておくことはできますか。
- Q11 事業所登録で、事業所名(会社名)の入力の際、前後にある(株)等は入力しなくてもいいですか。  
(例えば「〇〇〇〇(株)△△△事業所」と入力したい場合等)
- Q12 管理者について、担当者のメールアドレスは複数登録できるのでしょうか。
- Q13 ビル管理会社です。管理者(機器の所有者)から委託されて、機器の管理をしています。ビル管理会社が「管理者」としてシステムに登録してもいいのですか。
- Q14 事所登録した内容(ログイン ID、パスワード、メールアドレス、事業所名、代表者名、住所、電話番号等)を変更したいのですが、どうしたらよいですか。
- Q15 管理者です。システムを利用するにあたり、充填・回収業務を依頼している充填回収業者が、システムに事業所登録してくれません。どうしたらよいですか。
- Q16 システムに事業所登録している充填回収業者を知りたい。
- Q17 事業者登録をしました。自分の会社の「事業者コード」は、どこで確認できますか。



表1 「充填回収業者」向け説明会開催結果

回	実施日		実施都市	実施会場	講師		定員	参加 申込者数	参加者数	参加率
	法概要	責務と役割								
1	10月1日	木	東京	機械振興会館	経産省米野	作井	250	153	124	81%
2	10月13日	水	大阪	武藤記念ホール国民会館	環境省佐川	伊丹	216	72	54	75%
3	10月16日	金	札幌	北海道建設会館	環境省新倉	外山	198	30	23	77%
4	10月28日	水	広島	RCC文化センター	経産省立柳	香山	180	40	31	78%
5	10月30日	金	名古屋	愛知県産業労働センター ウインクあいち	経産省高橋	松田	171	65	52	80%
6	11月6日	金	福岡	福岡商工会議所	環境省中島	鷺見	200	70	64	91%
7	11月12日	木	高松	アルファあなぶきホール (香川県民ホール)	環境省新倉	香山	250	48	41	85%
8	11月17日	火	横浜	横浜商工会議所	環境省佐川	美濃山	150	34	29	85%
9	11月19日	木	名古屋	名古屋国際会議場	八橋	関口	200	19	17	89%
10	11月24日	火	大阪	大阪府社会福祉会館	経産省米野	伊丹	255	37	34	92%
11	11月30日	月	仙台	仙台市体育館	経産省松崎	鍋島	150	45	35	78%
12	12月7日	月	沖縄	沖縄産業支援センター	経産省松崎	渡辺	180	61	51	84%
13	12月8日	火	横浜	かなざわ労働プラザ	環境省中島	八橋	147	30	23	77%
14	12月15日	火	東京	機械振興会館	経産省立柳	作井	250	71	57	80%
15	12月17日	木	金沢	石川県地場産業振興センター	環境省新倉	伊丹	192	96	89	93%
16	12月18日	金	京都	京都府中小企業会館	環境省新倉	伊丹	216	45	37	82%
17	12月22日	火	仙台	仙台市体育館	経産省出戸	大沢	150	29	24	83%
18	1月12日	火	東京	機械振興会館	環境省佐川	三井	250	40	31	78%
19	1月14日	木	大阪	エル・おおさか	経産省谷	伊丹	216	35	26	74%
20	1月15日	金	名古屋	愛知県産業労働センター ウインクあいち	経産省谷	松田	171	28	23	82%
21	1月19日	木	北九州	北九州商工会議所	経産省米野	孟山	210	16	13	81%
22	1月25日	月	高松	アルファあなぶきホール (香川県民ホール)	経産省高橋	鷺見	250	32	20	63%
23	1月26日	火	広島	RCC文化センター	経産省高橋	鷺見	180	15	14	93%
24	1月28日	木	高崎	ピエント高崎	環境省中島	大沢	120	67	64	96%
25	2月3日	水	神戸	兵庫県民会館	経産省出戸	関口	156	21	15	71%
26	2月5日	金	金沢	石川県地場産業振興センター	経産省出戸	美濃山	192	66	68	103%
27	2月8日	月	静岡	静岡県男女共同参画センター 「あざれあ」	経産省谷	上村	144	31	22	71%
28	2月10日	水	福岡	福岡商工会議所	環境省松崎	長谷川	200	19	17	89%
29	2月29日	月	横浜	かなざわ労働プラザ	経産省立柳	三井	147	15	19	127%
30	3月1日	火	東京	機械振興会館	環境省鮎川	上村	250	26	23	88%
			計				5841	1356	1140	84%

※参加率＝参加者数／参加申込者数

表2 「冷凍空調機器を使用する事業者（管理者）」向け説明会開催結果

回	実施日	実施都市	実施会場	講師		定員	参加 申込者数	参加者数	参加率	
				法概要	責務と役割					
1	10月1日	木	東京	機械振興会館	経産省米野	外山	250	250	222	89%
2	10月13日	水	大阪	武藤記念ホール国民会館	環境省佐川	上村	216	210	186	89%
3	10月16日	金	札幌	北海道建設会館	環境省新倉	作井	198	56	48	86%
4	10月28日	水	広島	RCC文化センター	経産省立柳	森川	180	176	160	91%
5	10月30日	金	名古屋	愛知県産業労働センター ウイंकあいち	経産省高橋	鈴木	171	168	143	85%
6	11月6日	金	福岡	福岡商工会議所	環境省中島	長谷川	200	149	138	93%
7	11月12日	木	高松	アルファあなぶきホール (香川県民ホール)	環境省新倉	稲村	250	170	154	91%
8	11月17日	火	横浜	横浜商工会議所	環境省佐川	小木曾	150	150	130	87%
9	11月19日	木	名古屋	名古屋国際会議場	関口	八橋	200	113	105	93%
10	11月24日	火	大阪	大阪府社会福祉会館	経産省米野	上村	255	159	145	91%
11	11月30日	月	仙台	仙台市体育館	経産省松崎	孟山	150	150	140	93%
12	12月7日	月	沖縄	沖縄産業支援センター	経産省松崎	稲村	180	156	135	87%
13	12月8日	火	横浜	かなざわ労働プラザ	環境省中島	香山	147	147	127	86%
14	12月15日	火	東京	機械振興会館	経産省立柳	外山	250	243	205	84%
15	12月17日	木	金沢	石川県地場産業振興センター	環境省新倉	上村	192	126	110	87%
16	12月18日	金	京都	京都府中小企業会館	環境省新倉	上村	216	154	125	81%
17	12月22日	火	仙台	仙台市体育館	経産省出戸	森川	150	148	123	83%
18	1月12日	火	東京	機械振興会館	環境省佐川	水田	250	250	214	86%
19	1月14日	木	大阪	エル・おおさか	経産省谷	松田	216	92	82	89%
20	1月15日	金	名古屋	愛知県産業労働センター ウイंकあいち	経産省谷	森川	171	65	60	92%
21	1月19日	木	北九州	北九州商工会議所	経産省米野	長谷川	210	39	36	92%
22	1月25日	月	高松	アルファあなぶきホール (香川県民ホール)	経産省高橋	渡辺	250	62	50	81%
23	1月26日	火	広島	RCC文化センター	経産省高橋	渡辺	180	50	43	86%
24	1月28日	木	高崎	ピエント高崎	環境省中島	水田	120	45	45	100%
25	2月3日	水	神戸	兵庫県民会館	経産省出戸	伊丹	156	141	119	84%
26	2月5日	金	金沢	石川県地場産業振興センター	経産省出戸	作井	192	64	65	102%
27	2月8日	月	静岡	静岡県男女共同参画センター 「あざれあ」	経産省谷	外山	144	95	93	98%
28	2月10日	水	福岡	福岡商工会議所	環境省松崎	作井	200	50	43	86%
29	2月29日	月	横浜	かなざわ労働プラザ	経産省立柳	鈴木	147	76	63	83%
30	3月1日	火	東京	機械振興会館	環境省鮎川	作井	250	177	141	80%
			計				5841	3931	3450	88%

※参加率＝参加者数／参加申込者数



表8 「業種・地域別」説明会開催結果(1)

	申込者	開催日時	開催会場	受講対象者	受講要望・内容	講師	受講予定数	参加者数
1	静岡県 ぐらし・環境部 環境局 環境政策課	11/9(月) 13:00～ 3時間	静岡県浜松総合庁舎 1階 大会議室 浜松市中区中央1-12-1	県出先機関及び県 内市町の担当者	管理者向け 基本プログラム	森川 鈴木	80	75
2	日本製紙連合会 技術環境部	11/10(火) 14:00～ 2時間	紙パルプ会館 3階第5会議室 東京都中央区銀座3-9-11	日本製紙連合会 会員	・法概要の説明不要 ・管理者向け 基本プログラム	作井 外山	100	21
3	宮崎県 環境森林部環境管理課	11/16(月) 13:00～ 3時間	宮崎市保健所 研修室 宮崎市宮崎東1-6-2	県、市町村職員 一般の機器管理者	管理者向け 基本プログラム	稲村 長谷川	130	74
4	仙台市 環境局 環境部 環境企画課	11/18(水) 15:00～ 2時間	仙台市役所 8階ホール 仙台市青葉区国分町3-7-1	仙台市職員	管理者向け基本 プログラム中心に 2時間に圧縮	作井 高島	150	124
5	三重県 環境生活部 地球温暖化対策課	11/20(金) 13:30～ 3時間	津庁舎 大会議室 三重県津市桜橋3-446-34	三重県HPで案内 ホテル、病院、学校 食品メーカー等	管理者向け 基本プログラム	上村 松田	120	112
6	ひょうご環境保全連絡会 神戸市環境局 環境保全部環境保全指導課	11/25(水) 14:30～ 1.5時間	神戸市立勤労会館 308講習室 神戸市中央区雲井通5-1-2	・工場の施設担当 ・ビル管理会社 ・県及び県下市町 フロン対策担当	・法概要説明不要 ・簡易点検、算定漏 えい量報告中心とし た事業者の責務	上村	80	57
7	新潟地区環境保安連絡 協議会 新潟市環境部環境対策課	11/26(木) 13:30～ 3時間	デンカビッグスワンスタジアム 会議室8 新潟市中央区清五郎67-12	県、市町村職員 一般の機器管理者 施工業者	管理者向け 基本プログラム	水田 高島	50	44
8	静岡県 ぐらし・環境部 環境局 環境政策課	11/27(金) 13:00～ 3時間	静岡県東部総合庁舎 別棟2階会議室 沼津市高島本町1-3	行政関係者 (市町職員、学校関 係他)	管理者向け 基本プログラム	外山 長谷川	80	54
9	栃木県 環境森林部 環境保全課	12/2(水) 13:30～ 3時間	栃木県庁内 東館4階講堂 宇都宮市埴田1-1-20	行政関係半数 他は製造工場、スー パー	管理者向け 基本プログラム	作井 小木曾	120	129
10	関東農林水産関連企業 環境対策協議会	12/8(火) 15:45～ 1.75時間	TKP東京駅前会議室 カンファレンスルーム2 東京都中央区日本橋3-5-13 三菱ビル2F	食品産業関係会員	法概要説明を省略 し、管理者基本プロ グラムを所定時間に 圧縮	作井 外山	60	39
11	(一社)日本フランチャイズ チェーン協会	12/8(火) 15:00～ 1.5時間	協会内会議室 東京都港区虎ノ門3-6-2 第2秋山ビル	会員	管理者向け基本 プログラム中心に 1.5時間に圧縮	上村	25	22
12	秋田県 生活環境部 環境管理課	12/10(火) 13:00～ 3時間	県庁内 会議室 秋田市山王4-1-1	行政職員が大半 その他JA、病院等	基本プログラムを中 心に点検についての 詳細説明を希望	森川 高島	150	189
13	岩手県 環境生活部 環境保全課	12/11(金) 13:30～ 3時間	いわて県民情報交流セン ター(アイーナ)8階 研修室 812 盛岡市盛岡駅西通1-7-1	県、市町村職員 一般の機器管理者	基本プログラムを中 心に点簡易検につ いて長めに詳しく	森川 高島	150	147
14	島根県 環境生活部 環境政策課	12/11(金) 13:30～ 3時間	島根県民会館 大会議室 島根県松江市殿町158	県冷凍空調工業会 員、市町村職員、商 工会議所会員	管理者向け 基本プログラム	香山 孟山	150	100
15	宮城県 環境生活部 環境政策課	12/14(月) 13:00～ 3時間	大河原合同庁舎大会議室 宮城県柴田郡大河原町字南 129-1	県、市町村職員 一般の機器管理者 施工業者	管理者向け 基本プログラム	上村 水田	200	70

表8 「業種・地域別」説明会開催結果(2)

	申込者	開催日時	開催会場	受講対象者	受講要望・内容	講師	受講予定数	参加者数
16	宮城県 環境生活部 環境政策課	12/16(水) 13:00～ 3時間	気仙沼合同庁舎 2階 大会議室 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢 47-6	県、市町村職員 一般の機器管理者 施工業者	管理者向け 基本プログラム	外山 水田	80	50
17	宮城県 環境生活部 環境政策課	12/18(金) 13:00～ 3時間	石巻合同庁舎 5階 大会議室 宮城県石巻市東中里1-4-32	県、市町村職員 一般の機器管理者 施工業者	管理者向け 基本プログラム	水田 稲村	100	65
18	(一社)電子情報技術産業 協会 環境部	12/18(金) 14:00～ 2時間	協会内409～412会議室 東京都千代田区大手町1-1- 3	協会会員	管理者向け基本 プログラム中心に 全体を2時間で	作井 外山	120	66
19	岡山県 環境文化部 環境企画課	12/25(金) 13:30～ 3時間	岡山県生涯学習センター 岡山市北区伊島町3-1-1	市町村、商工会議 所、団体に案内	管理者向け 基本プログラム	森川 三井	150	133
20	滋賀県 環境文化部 環境政策課	1/12(火) 13:30～ 3時間	県庁会議室 滋賀県大津市京町4-1-1	県職員 環境保全協会会員	管理者向け 基本プログラム	作井 松田	150	96
21	愛媛県 県民環境部 環境局環境政策課	1/13(水) 13:30～ 3時間	県庁 第一別館 11階会議室 松山市一番町4丁目4-2	・回収業者 ・商工会議所 ・トラック協会等 フロン対策担当	管理者向け 基本プログラム	稲村 高島	120	137
22	株式会社シジシージャパン 環境室	1/22(金) 13:00～ 3時間	住友不動産西新宿ビル16階 シジシージャパン会議室 東京都新宿区西新宿7-20-1	社員(食品スーパー)	・基本プログラムに 沿って算定漏えい量 報告を中心に ・質疑長めに	作井 外山	60	46
23	鳥取県 生活環境部 循環型社会推進課	1/27(水) 13:30～ 3時間	西部総合事務所 講堂 鳥取県米子市鞆町1-160	行政関係者 団体等	管理者向け 基本プログラム	森川 長谷川	150	75
24	(公社)東京ビルメンテナンス 協会	2/10(水) 14:00～ 2.5時間	協会会議室 東京都荒川区西日暮里5- 12-5	協会会員	管理者向け 基本プログラム	上村 水田	50	109
25	横浜市 環境創造局 環境エネルギー課	2/12(金) 13:30～ 3時間	横浜情報文化センター 情文ホール 横浜市中区日本大通11	県、市町村職員 一般の機器管理者 施工業者	管理者向け 基本プログラム(電子 的情報管理は省略)	作井 外山	150	211
26	ミニストップ株式会社 開発本部建設施設部	2/16(火) 13:00～ 2時間	社内大会議室 千葉市美浜区中瀬1-6 NTT幕張ビル18階 (テレビ会議活用)	建設施設部員	自社の状況から見た 点検のあり方等	外山	40	6
27	名古屋市上下水道局 経営本部 企画部 経営企画課	2/17(水) 14:15～ 3時間	水道局職員研修所 船附研修会館 名古屋市北区大杉1-8-28	下水道局職員	管理者向け 基本プログラム	上村 外山	53	50
28	岡山県 環境文化部 環境企画課	2/18(木) 13:30～ 3時間	テクノサポート岡山 大会議室 岡山市北区芳賀5301	県、市町村職員 一般の機器管理者 施工業者	管理者向け 基本プログラム	上村 三井	200	103
29	三菱商事株式会社 環境・CSR推進部	2/19(金) 10:00～ 2時間	社内テレビ会議室 東京都千代田区丸の内2-3- 1	環境・CSR推進部員	管理者向け 基本プログラム	作井 外山	25	80
合計							3,093	2,484

## 平成27年度フロン類算定漏えい量報告・公表制度説明会

回	都市	開催日時	会場
1	東京 [第1回]	平成28年3月7日（月） 13：30～15：30	全日通霞ヶ関ビルディング 8階 大会議室
2	大阪 [第1回]	平成28年3月9日（水） 13：30～15：30	エル・おおさか（大阪府立労働センター） 7階 708号室
3	札幌	平成28年3月10日（木） 13：30～15：30	会議・研修施設ACU/アキュ 12階 中研修室1206
4	名古屋	平成28年3月15日（火） 13：30～15：30	名古屋銀行協会 2階 201号室
5	大阪 [第2回]	平成28年3月16日（水） 10：00～12：00	エル・おおさか（大阪府立労働センター） 7階 708号室
6	東京 [第2回]	平成28年3月17日（木） 10：00～12：00	全日通霞ヶ関ビルディング 8階 大会議室
7	東京 [第3回]	平成28年3月17日（木） 13：30～15：30	全日通霞ヶ関ビルディング 8階 大会議室
8	福岡	平成28年3月22日（火） 13：30～15：30	カンファレンスASC 1F 会議室
9	東京 [第4回]	平成28年3月24日（木） 10：00～12：00	全日通霞ヶ関ビルディング 8階 大会議室
10	東京 [第5回]	平成28年3月24日（木） 13：30～15：30	全日通霞ヶ関ビルディング 8階 大会議室

一般社団法人 東京都冷凍空調設備協会

# 東冷協だより

2015. **10**  
No.357

● 目次

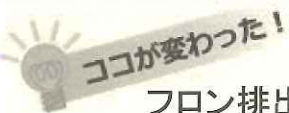
・今、思うこと	1	・東冷協日誌	29
・お知らせ	2	・行事予定	29
・技術レポート	15	・展示会案内	30
・サロン	16	・Rereview! 豆知識	31
・リレー訪問	20	・税のコラム	32
・行事報告	21	・法のコラム	34
・会員トピックス	28	・新聞記事情報	35
		・会員の動向	36



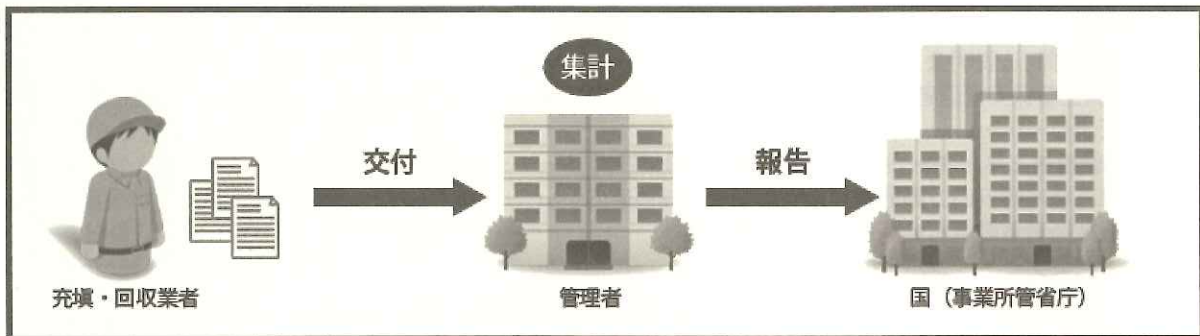
# フロン類算定漏えい量の報告が義務化されました

管理者のみなさん、報告の準備が必要です。

来年春にはこの1年間のフロン類算定漏えい量の報告が必要です。  
報告を怠ったり、虚偽の申請をした場合は過料に処されます。



フロン排出抑制法の施行に伴い、関係者が回付・交付・保存する書面が増えました。  
充填・回収業者は充填証明書、回収証明書を管理者に交付する必要があります。  
管理者はその証明書をもとに算定して、一定量を超えたフロン類が漏えいした場合には  
国に報告する義務が追加されました。



そこで!

フロン排出抑制法第76条に基づく情報処理センターを活用することにより、  
フロンの充填・回収情報を、電子的に管理することが容易になります!

## 情報処理センター

機能

充填・回収業者が交付する充填証明書・  
回収証明書を電子的に受取可能

メリット

スムーズなデータ管理  
確実な漏えい量算定  
スピーディーな実態把握

情報処理センターの指定を受けたJRECOでは、  
センター機能を合わせた冷媒管理システムを構築しました。



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

<http://www.jreco.or.jp>

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館406-2

TEL : 03-5733-5311 FAX : 03-5733-5312

# 冷凍空調設備

REFRIGERATION & AIR-CONDITIONING CONTRACTORS

1・2

Vol.43 No.1・2  
2016 January

年頭所感  
HVAC&R 2016 わが社の見どころ  
銅管ろう付施工技術講習会

新湊大橋(富山県)



一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会

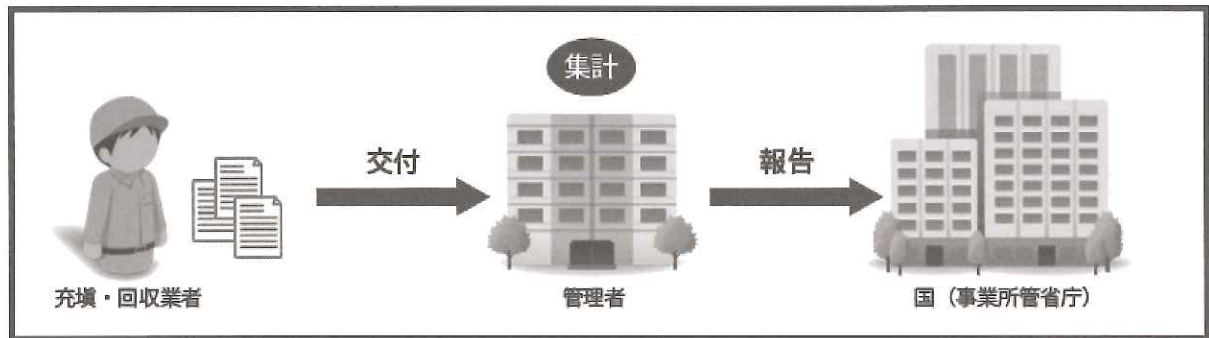
# フロン類算定漏えい量の報告が義務化されました

管理者のみなさん、報告の準備が必要です。

来年春にはこの1年間のフロン類算定漏えい量の報告が必要です。  
報告を怠ったり、虚偽の申請をした場合は過料に処されます。

ココが変わった!

フロン排出抑制法の施行に伴い、関係者が回付・交付・保存する書面が増えました。  
充填・回収業者は充填証明書、回収証明書を管理者に交付する必要があります。  
管理者はその証明書をもとに算定して、一定量を超えたフロン類が漏えいした場合には  
国に報告する義務が追加されました。



そこで!

フロン排出抑制法第76条に基づく情報処理センターを活用することにより、  
フロンの充填・回収情報を、電子的に管理することが容易になります!

## 情報処理センター

機能

充填・回収業者が交付する充填証明書・  
回収証明書を電子的に受取可能

メリット

スムーズなデータ管理  
確実な漏えい量算定  
スピーディーな実態把握

情報処理センターの指定を受けたJRECOでは、  
センター機能を合わせた冷媒管理システムを構築しました。



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

<http://www.jreco.or.jp>

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館406-2

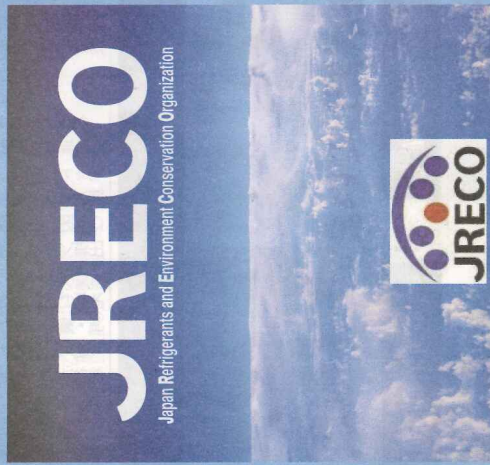
TEL : 03-5733-5311 FAX : 03-5733-5312





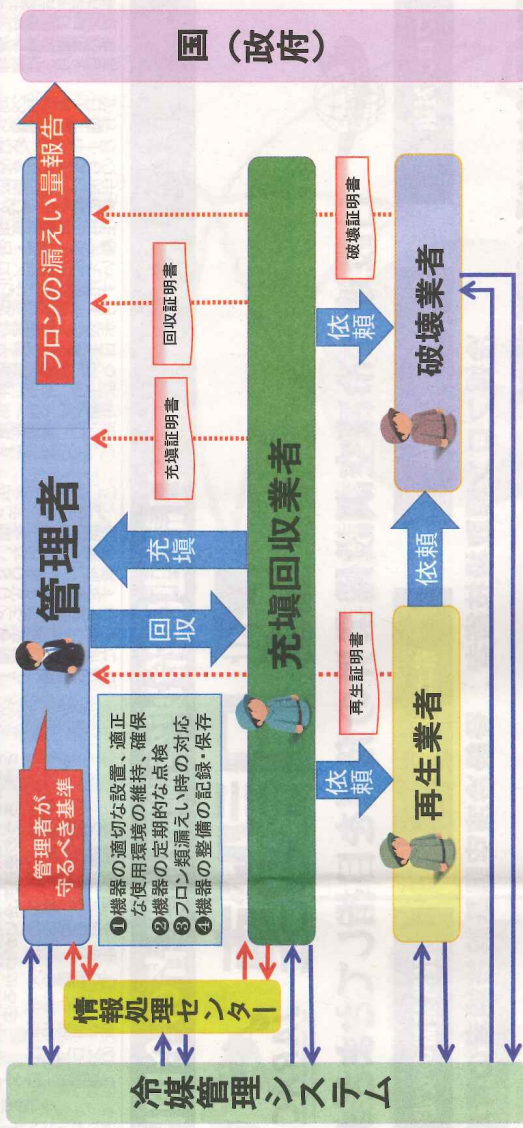
# 「フロン排出抑制法」への対応でお困りの点はありませんか？

JRECOでは、「情報処理センター」の機能を備え、利用者の利便性を考慮し、各立場の方々に活用頂ける電子的な「冷媒管理システム」の提供を行っています。



ワンストップで各分野フロン類対策の支援・推進をはかる

- 冷媒管理システム(情報処理センター)の強固な構築で利用者の利便性拡大
- 信頼ある技術者の育成(資格認定事業)
- フロン類に関するシンクタンクとしての調査・発信
- 政策への協力(補助金事業の実施等)
- 「フロン排出抑制法」の周知活動
- フロン回収行程管理票等の提供



- 整備時の充填・回収証明書や点検・整備記録簿を電子的に作成、保管することができ、紙面による煩雑な事務作業から解放されます。
- 簡易点検、定期点検が点検・整備記録簿に登録でき、機器一覧参照で点検時期の把握も容易になります。
- 算定漏えい量は点検・整備記録一覧にも表示されますので、管理者は簡単に状況確認ができます。
- 管理者の算定漏えい量集計・報告、充填・回収業者の年度報告の出力、保存が簡便に行えます。

→詳しくは、JRECOにお問合せください

一般財団法人日本冷媒・環境保全機構  
(JRECO) <http://www.jreco.jp/>

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

機械振興会館406-2

TEL 03-5733-5311 FAX 03-5733-5312

# 開催概要



2016年2月23日(火)～26日(金)  
東京ビッグサイト 東1・2ホール

- ◆ 名称 HVAC&R JAPAN 2016 (ヒーパックアンドアールジャパン) 第39回冷凍・空調・暖房展
- ◆ 開催日程 2016年2月23日(火)～26日(金) 10:00～17:00 (最終日は16:00まで)
- ◆ 会場 東京ビッグサイト 東1ホール・東2ホール
- ◆ 主催 一般社団法人日本冷凍空調工業会
- ◆ 後催 経済産業省(予定)
- ◆ 出展社数 188社 / 734小間(予定)
- ◆ 入場料 1,000円(事前登録もしくは招待状持参で無料)
- ◆ 併催行事 HVAC&R JAPANセミナー(基調講演、一般講演、企画セミナー)、出展者プレゼンテーション、情報発信コーナー、施設見学会 他

## 登録者実績

	天気	HVAC&R JAPAN	前回実績
2月23日(火)		5,867	6,655 (6,655)
2月24日(水)		7,774	9,473 (7,862)
2月25日(木)		7,721	9,566 (7,694)
2月26日(金)		6,021	7,464 (5,305)
4日間合計		27,383	33,158 (27,516)

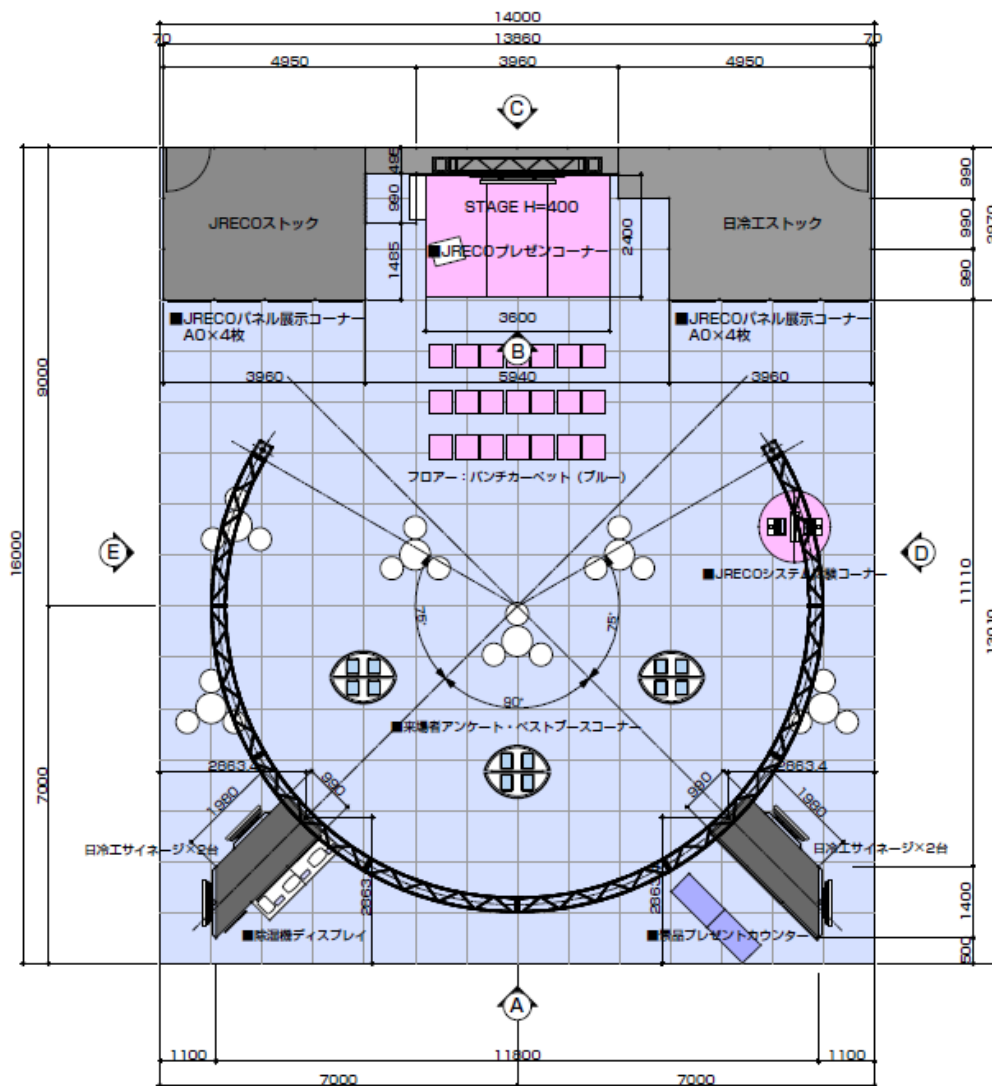
※前回実績の欄は、上段は同時開催のENEX展を含む登録者数、下段はHVAC&R単独の登録者数です。

※HVAC&R 公式HPより抜粋



さあ、グッドな未来の冷暖技術を見にいこう。

# ブースイメージ/平面図



# ブース写真

ブース全景

※画像取扱注意  
※画像の2次流用厳禁



プレゼンステージ



冷媒管理システム体験コーナー

ステージ全景/パネル展示



# 収支決算書(平成27年度)

## (情報処理センター)

自 平成27年 4月 1日  
至 平成28年 3月31日

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

東京都港区芝公園3-5-8  
機械振興会館406-2

# 貸借対照表

平成28年 3月31日現在

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位:円)

科 目	平成27年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	259,599
流動資産合計	259,599
2. 固定資産	
ソフトウェア	941,393
固定資産合計	941,393
資産合計	1,200,992
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払法人税等	0
預り金	180,549
実施事業勘定	2,254,441
流動負債合計	2,434,990
負債合計	2,434,990
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	0
2. 一般正味財産	-1,233,998
正味財産合計	-1,233,998
負債及び正味財産合計	1,200,992

# 正味財産増減計算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位:円)

科 目	情報処理センター27年度実績額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取民間助成金	160,000
事業収益	1,099,860
雑収益	188
経常収益計	1,260,048
(2) 経常費用	
事業費・管理費	
人件費	808,007
委託費(サーバー使用料、システム保守費)	7,344
システム開発引当金繰入額	59,594
減価償却費	251,564
賃借料(事務所費等)	116,993
旅費、交通費	54,459
通信運搬費	16,872
印刷製本費	103,642
広報費(パンフレット作成費)	48,990
銀行口座手数料	24,158
会議費・研修費	12,716
消耗品費・消耗什器備品・修繕費	50,358
租税公課その他	84,841
経常費用計	1,639,538
評価損益等調整前当期経常増減額	-379,490
評価損益等計	0
当期経常増減額	-379,490
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
税引前当期一般正味財産増減額	-379,490
法人税・住民税及び事業税	0
当期一般正味財産増減額	-379,490
一般正味財産期首残高	-854,508
一般正味財産期末残高	-1,233,998
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
III 正味財産期末残高	-1,233,998